

町村週報

(町村の購読料は会費)
の中に含まれております

2913号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955

発行人 石田直裕：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697

<http://www.zck.or.jp>

石垣の里 (愛媛県愛南町)



もくじ

- 随 情 情 フォーラム 政
- 想 報 報

CLT(クロス・ラミネイテッド・ティンバー)の普及に向けた取組について 林野庁 木材産業課 木材製品技術室…(2)	『ないものはない』の精神で飽くなき挑戦 〜持続可能な未来をつくる 学びの島〜 愛南町 木村 隆司…(5)	町村Navi…(9)	新任都道府県町村会長の略歴 住みよいまち「しまもと」をめざして…(10)	大阪府島本町長 川口 裕…(11)
--	--	------------	---	-------------------

コラム

子宝の島

東京大学名誉教授

大森

彌

いまでは小学校の国語の教科書に万葉集が記載されているが、その歌人・山上憶良の「銀も金も玉も何せむに勝れる宝子に及がめやも」は、私の世代にとっては忘れ難い。子に恵まれない夫婦が子授けのご利益のあるとされる神社やお寺へ祈願していくのは今も変わらない。しかし、現在日本では、子を何物にも代えがたい宝であるという考え方は弱まってきているように思える。それが出生数の低下の一因になっているのではないか。

ところが、徳之島空港に着陸すると、徳之島子宝空港とある。2012年2月に付いた愛称というが、その由来は、どうやら、空港を出ると「妊婦が寝ているようだ」といわれている「寝婆山」が迎えてくれるからだといふ。徳之島空港を「子宝空港」と呼ぶにはなるほど思える根拠があるのである。奄美群島の一つである徳之島には、徳之島町、伊仙町、天城町の3町があるが、この島には「子やたほらゆんし」(子供は恵まれるだけなく多く生んだほうがいい)という考えが根付いていて、なんと、2009(平成21)年1月30日に厚生労働省が発表した合計特殊出生率では、伊仙町

が全国1位の2.42、天城町と徳之島町が2.18で、2と3位であった。当時、東京都目黒区が0.74で最低、次いで京都市東山区が0.75、東京都中野区も0.75であった。全国の平均値が1.31であったから、徳之島は文字通り「子宝の島」と言える。なかでも伊仙町は平成26年1月にも、なんと2.81で再び全国1位になっている。住民の多くは、この町が子宝の島といわれる要因として「親や兄弟、友人、近所の人など子育てを支援する人がいる」や「子どもが多くても何とかが育てていけると思う」や「子どもは大事(くあーと宝)」なので授かった子どもは大事に育てようといった考えが地域にある」をあげている。もちろん町役場もさまざまな支援策を展開している。大都市が人口減少に歯止めをかけるのなら徳之島に学ぼうということになる。しかし、子宝の意識が弱まり、核家族化が進み、地域力が弱体化している大都市では出生率を上げるのは至難である。妊娠・出産・育児で孤立しやすくなってしまった母親やその家族を包括的に支援する事業(日本版ネウボラ)などを強力に展開する以外にないだろう。

写真キャプション

山の斜面に築かれた家々の石垣が、春昼の日差しに暖められている。愛南町にある集落、外泊では、先人たちが一つひとつ石を積み上げた石垣が、台風や季節風から家を守ってきた。猪から作物を守るためのシジ垣も残っている。

政策解説

CLT (クロス・ラミネイティド・ティンバー)
の普及に向けた取組について

林野庁 木材産業課 木材製品技術室

はじめに

我が国の森林資源は、戦後に造林した人工林が収穫期を迎えており、木を「育てる」時代から「使う」時代へと変わっています。このような時代には、国産材を積極的に利用することが、森林を適切に整備・保全することにつながります。また、木材は再生産が可能で、二酸化炭素の貯蔵や排出抑制に貢献するなど、地球環境にも優しい素材です。これまでに林野庁では、国産材の需要拡大のため、公共建築物等の木造・木質化、木質バイオマス利用、耐火性能に優れた木質建材の技術開発、輸出の取組などを推進してきました。



▲CLT (スギ)

こうした中、CLT (Cross

Laminated Timberの略) と呼ばれる木材が近年注目を集めています。CLTは、ひき板を繊維方向が直交するように積層接着した木製のパネルであり、既に欧米を中心に、CLTを活用した共同住宅やオフィスビル等の中高層建築物の建設が進められています。建築面からのメリットとしては、コンクリート製品より軽いため建物が軽くなり、基礎工事等の簡素化が可能となること、また、施工がシンプルであり、型枠職人等熟練工への依存が少なく、工期の縮減も可能になることなどが挙げられます。我が国においても中高層建築物等に国産材CLTを活用して「都市の木質化」への道をひらき、新たな木材需要を創出することが期待さ

れています。

CLTを普及するには、規格・基準の整備や実証的建築の積み重ねなど、様々な施策を総合的に推進することが必要です。林野庁と国土交通省は、こうした施策を計画的に進めるとともに、その具体的内容と想定するスケジュールを幅広く周知し、関係者の取組を促進するため、昨年11月に「CLTの普及に向けたロードマップ」を策定・公表しました。本稿では、ロードマップに沿ってCLTの普及に向けた取組を御紹介します。

CLT工法での建築を可能に

農林水産省では、品質・性能の確保されたCLTの普及を図るため、



▲9階建てのCLT建築 (英国)

政 策

CLTの普及に向けたロードマップ

林 野 庁
国 土 交 通 省

目標	現状	26年度	27年度	28年度	目指す成果
CLT工法での建築を可能に (※)壁、床等の構造の全てをCLTとする建築物	国土交通大臣の認定を受けて建設。 規模等に応じた耐火性能を確保することで建設。	強度データ収集		基準強度告示 追加データ収集	・国土交通大臣認定を受けず、比較的容易な計算により建設可能に ・3階程度以下の建築物について、CLTを「現し」(注3)で使用可能に(※)準耐火建築物が求められる規模等の建築物
		一般的な設計法を確立するための検討・実大実験		一般的な設計法告示(注1)	
		「燃えしろ」に係る検討・実験等	燃えしろ設計(注2)告示		
CLTの部分的利用を推進	床	鉄骨造建築物等の床にCLTを使用できるかどうか不明	接合方法等の開発	技術開発ができ次第活用	・鉄骨造建築物等の床へCLTの利用可能化
	壁	鉄骨造建築物等の壁にCLTを使用できるかどうか不明	接合方法等の開発	技術開発ができ次第活用	
	耐震補強	建築物の耐震補強においてCLTを使用できるかどうか不明	接合方法の検討 ・耐震性向上効果の確認	技術開発ができ次第活用	
実証的建築の積み重ね ↓ 施工ノウハウの確立	CLT建築物が1棟のみであり、施工ノウハウが不十分	<ul style="list-style-type: none"> CLTを活用した実証的建築への支援(H26年度8棟建設予定(林野庁支援)) ※北海道北見市1棟、福島県湯川村2棟、岡山県真庭市3棟、群馬県館林市1棟、神奈川県藤沢市1棟 新たなアイデアを喚起(共同住宅以外の用途や部分的利用の発想を創出) 			<ul style="list-style-type: none"> 施工ノウハウを蓄積し、広く周知 住宅メーカー等がCLTに取り組みやすい環境に
生産体制の構築 ↓ CLT製品価格7~8万円/㎡となりRC造等と価格面で対抗可能	<ul style="list-style-type: none"> 3工場で年間1万㎡程度の生産能力 製品価格が高い(15万円/㎡程度) 	<ul style="list-style-type: none"> 概ね、毎年5万㎡程度の生産体制を順次整備し、CLTの生産能力向上と低価格化を実現 ※5万㎡：おおよそ製材社員数約420棟分のCLT 			<ul style="list-style-type: none"> 28年度期首に5万㎡程度の生産能力を実現 H36年度までに年間50万㎡程度の生産体制を構築 (※50万㎡：中層建築物(3~4階建て)の約6%がCLT工法に置き換わった場合の量に相当)
中大規模建築物の木造化に係る設計ノウハウの普及	中大規模木造建築物の設計に取り組み建築士が少ない。	中大規模木造建築物について、構造や材料等に係る講習会を各地で開催			・各地域において、中大規模建築物の木造化に意欲的に取り組む建築士を確保

(注1)許容応力度計算等一般的に使われる比較的簡易な構造計算による設計手法。
(注2)想定される火災で消失する木材の部分を「燃えしろ」といい、燃えしろを想定して部材の断面寸法を考えて設計する手法。
(注3)木材を耐火被覆することなく露出した状態でそのまま使うこと。
*階段、間仕切り壁等については、現時点において使用可能。屋根等については、基準強度が明らかになれば使用可能。

平成25年12月に「直交集成板」の日本農林規格(JAS)を制定しました。この中で、接着性能、ホルムアルデヒド放散量、寸法、曲げ性能、表示のルールなどについて細かく規定しています。平成27年2月までに国内の2社がJAS工場として認定されています。

JASは制定されましたが、現時点ではCLTを一般的な構造部材として使うことは出来ません。それが出来るようになるためには、国土交通省がCLTの基準強度の告示やCLT工法(ここでは、壁・床等の構造の全てをCLTとする建築様式を「CLT工法」と呼びます。)に係る一般的な設計法の告示を制定することが必要となります。ロードマップでは告示制定の目標を平成28年度早期とし、そのために必要となる強度データ収集等について、引き続き林野庁と国土交通省が連携して進めることとしています。

部分利用の推進

CLTの利用方法はCLT工法の建物だけではありません。例えば、耐震補強材としての利用や、鉄骨造建築物の床としてCLTを利用する(構造耐力は鉄骨が負担する)よう

な使い方もあります。現在の鉄骨造ビルの床はコンクリートが一般的であり、例えば超高層ビルの床材としてCLTが使えるようになれば、CLTの軽さや施工性の良さのメリットを相当活かせると期待できます。現在、林野庁事業等において、こうした部分利用の実現に向けても技術開発を進めています。

実証的建築の積み重ね

現時点では一般的にCLTを構造部分に用いて建物を建てることは出来ませんが、個別の建築物ごとに国土交通大臣認定を取得した上で使うという方法があります。我が国で初めて構造部分にCLTを用いた建築物は、「高知おおとよ製材」の社員寮です。平成25年8月に個別認定を取得し、10月に着工、平成26年3月に竣工しました。施工においては、構造部分の建て方は正味2日間で完了し、施工性の良さが証明されました。更に26年度中には、岡山県真庭市の市営住宅など国内で8棟のCLT建築が新たに竣工する予定です。CLTの普及のためには基準整備や技術開発が国として最優先して取り進むべきことですが、一方で、高知の社員寮のような実例を重ねて建

政 策

建築界や一般の人々にPRするとともに、建ててみなければ分からない様々な施工ノウハウを蓄積することもあります。林野庁ではこうした実証的な建築に対する支援も行っています。

生産体制の構築

当然のことながら、上述のようなCLTの利用拡大に資する取組と同時に、生産体制も整えなければ国内産材CLTの普及は実現しません。欧州においては90年代からCLTが普及し始め、約20年後の現在、オース

トリアを中心に年間生産量は約50万㎡に達しています。我が国においてはその半分の10年後(平成36年度)までに年間50万㎡の生産体制を構築することを目標としています。

生産体制の構築に必要なことは、一つは、需要に応じた品質・量を満たすCLTを適正なコストで安定供給できるCLT工場を作ることであり、もう一つは、CLTの原料となるラミナや原木を確保できる体制を作ることです。特に後者については、素材生産の強化、流通の効率化、既存の製材工場におけるラミナ生産など、その地域林業全体で検討する必

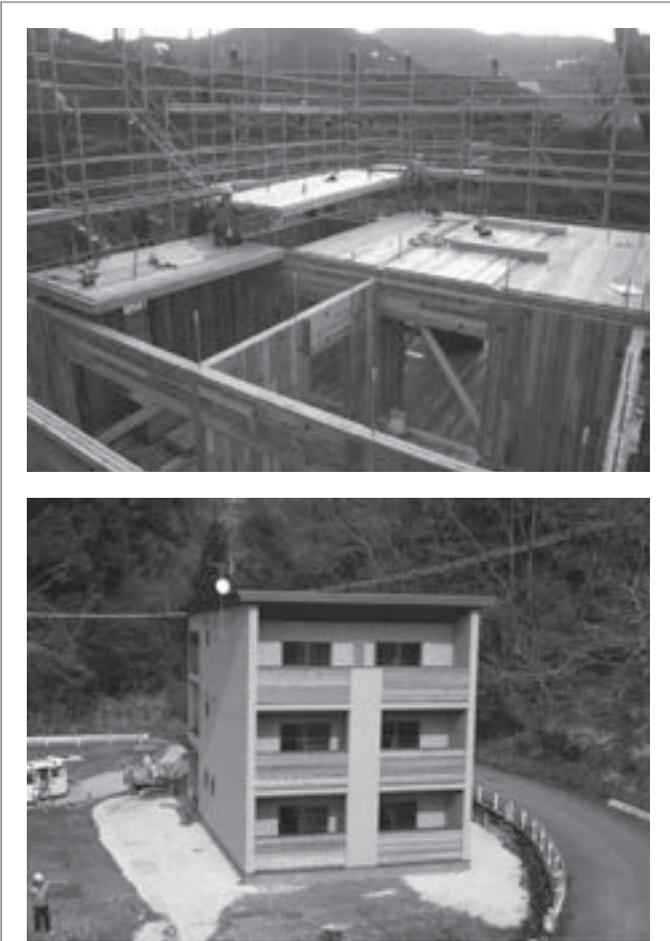
要があります。

建築士等人材の確保

中大規模木造建築物の設計に取り組む建築士が少ない状況において、CLTの一般的な設計法告示が制定されれば多くの建築士が即座にCLTを使ってくれるというわけではありません。よって、CLT建築の設計や施工に係るマニュアル等を整備し周知を図るとともに、講習会等を通じて全国的に中大規模建築物の木材に意欲的に取り組む建築士を確保することが必要です。

おわりに

CLTの早期普及については、政府の日本再興戦略(平成26年6月閣議決定)や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(平成26年12月閣議決定)においても明確に位置づけられており、地方創生の観点からも注目されています。林野庁としては今後国土交通省と緊密に連携し、ロードマップに沿ってしっかりと施策を進める考えです。こうした施策を推進するには、地方公共団体、研究機関等及び民間(CLTの生産者、需要者、設計士等)の協力が不可欠となります。平成24年2月に3者でスタートした日本CLT協会が、今年4月に一般財団法人化し、現在までに会員が200者を超えるなど、民間においてもCLTへの関心・期待が高まっているところです。CLTの本格的普及に向けて、今後関係者のご協力を賜りたく、よろしくお願い致します。



▲高知おおとよ製材社員寮
(写真は施工中(上)と完成後(下))
階数等：3階建て、延べ面積64㎡(準耐火建築物)
材 料：高知県産スギを用いたCLTを120㎡利用

◎休刊のお知らせ◎
3月23日付の町村週報につきましては、休刊とさせていただきます。第2914号は3月30日付の発行となりますので、ご了承の程、よろしくお願いたします。

フォーラム

▽家督山から菱浦湾を望む



現地レポート 地域資源を活かした活性化策

『ないものはない』の精神で飽くなき挑戦

持続可能な未来をつくる『学びの島』へ

島根県

海士町

あ ま ちよつ



はじめに

島根県隠岐諸島の一つ中ノ島にある海士町は、本土から約60km、人口約2300人の小さな離島ですが、この町のロゴマークとなっている『ないものはない』という言葉が昨年9月の安倍首相の所信表明演説で紹介され、一躍注目を浴びました。

曰く、島へIターンした若者のアイ

デアから開発されヒット商品となった「やえかレー」など、地域の個性を活かして自分たちの未来を作り出すという「地方創生」の好例として。また、『ないものはない』（＝必要なものはすべてここにある、知恵次第で何とでもなる）の考え方を以て『やれば、できる！』を体現している気概あるト田舎の町として、海士町を取り上げていただいたのです。

他にも、昨年6月には当時の総務大臣が来島されたほか、年間2000人近くもの皆様が、全国各地から、時に海外から、遠路はるばる海を越えて視察にいらっしゃいます。なぜ、僻地の離島がこれほど注目されるのか。以前は日本の「最後尾」を走っていたはずの少子高齢化の過疎の町が、なぜ「地方創生の最先端」とまで言われるようになったのか。その独自のまちづくりの経緯と目指す未来について、ご紹介いたします。

フォーラム

海士町の概要

まず地理的な概要としては、海士町は面積33・52km²、周囲89・1kmで、車なら1時間で一周できる大きさです。本土からは大型フェリーが高速船(※冬期は休航)で約2〜3時間かかり、冬場は海が時化ることが多いため船が欠航し交通が断絶されることも珍しくありません。そうなるも当然、新聞や食料など本土からの物資は何一つ届かず、人も足止めとなります。

しかし悪条件ばかりではなく、対馬暖流の影響を受けた海域は豊かな海産物に恵まれ、古くから漁業が盛んです。また、豊富な湧水と、約280万年前の火山活動によってできた平地を利用した稲作も盛んで、食料を自給自足できる半農半漁の島です。

歴史的には、奈良時代から遠流の島であり、遣唐副使の小野篁や、鎌倉時代には承久の乱で敗れた後鳥羽上皇など高貴な方々も流されているため、貴重な文化遺産が多く残っています。よそ者(今で言うインターン)を受容するメンタリティが島に根付いているのも、古来から流入を受け入れてきた歴史に因るのかもしれない。

文化遺産だけでなく、海士町を含む隠岐全体には様々な地質遺産や世界的にも珍しい独自の生態系が残されており、平成25年には世界ジオパークに認

定され、今後の観光振興が課題になっているところです。

地域再生へ、攻めと守り、島ならではのモノづくり

若者の島外流出による極端な少子高齢化や人口減、第一次産業の低迷。地域活力の低下に対する起爆剤として、平成10年、地域資源を活かした商品開発に着手しました。「島じゃ常識 さざえカレー」が発売されたのもこの年です。

実は当時の海士町は、財政面でも深刻な事態に陥りつつありました。国の基盤整備事業に限界が見え始めて公共投資が急激に縮小、それまで公共事業に頼っていた町の借金は約102億円にも膨らみ、財政破綻が危ぶまれる状態だったのです。

そこで平成11年、第3次海士町総合振興計画「キンニヤモニヤの変」の始



△「島じゃ常識 さざえカレー」



△海士ブランド 放牧中の「隠岐牛」

動とともに財政健全化への取り組みがスタートしました。さらに、山内道雄・現町長が初就任した直後の平成15年、平成の大合併の嵐が吹き荒れる中で敢えて単独町制の道を選んだことで、「自立」に向けて島民の心が一つになり、翌16年には「海士町自立促進プラン」を策定。「三位一体の改革」に伴って地方交付税が大幅削減されるといふ海士町最大のピンチを、地域再生のためのターニングポイントとすべく、大胆な「攻めと守り」のまちづくりが始まりました。



▷凍結庫への搬入作業

◁CAS凍結した「白いか」

して、子育て支援など少子化対策や定住促進策にも本腰を入れました。

一方の「攻め」とは、「島まるごとブランド化構想」に基づく官民一体の産業振興です。この島の風土ならではのモノづくりによって第一次産業の再生を図り、清浄な海域で養殖される岩がき「春香」や、足腰が強く肉質も極上の黒毛和牛「島生まれ、島育ち、隠岐牛」など、「海士ブランド」の特産品を続々と誕生させて外貨獲得につなげ、新たな雇用も創出しました。

平成16年に導入した鮮度を保つ特殊

フォーラム

◁岩がき「香香」の水揚げ



な冷凍技術CASによって離島の物理的ハンディキャップを覆し、白いかや岩がきをCAS凍結した冷凍加工食品は、首都圏を中心に海外にまで販路を広げています。

最近では希少海藻の養殖や商品化に向けた研究も行い、平成24年に新設した海藻センター(応用藻類学研究所)を拠点として水産業の付加価値化と海洋資源管理を目指す取り組みも進めています。

これら数々のユニークな施策によって雇用機会が増えたこと、そして明るくたくましい島民性に惹かれて都会から移住する若者が後を絶たず、現在は島の人口の1割以上がイターンです。

「よそ者」と地元民との交流から生まれるパワーや柔軟なアイデアが、今の海士町の元気の源にもなっています。

島域をフィールドに

独自のモノづくりから起死回生の道を歩み始めた海士町ですが、ここ数年で最も注目されているのは、ヒトづくりの分野。島前3島(西ノ島、中ノ島、知夫里島)の高校生らが通う県立隠岐島前高校(海士町福井)の学校改革、いわゆる『高校魅力化プロジェクト』です。

6年前には少子化による生徒減で学校存続の危機に瀕していた島前高校。もし高校が無くなれば、15〜18歳の若者が島から消えるばかりか子どもをもつ世帯の流出やU・イターンの激減に直結し、地域の衰退に歯止めがかから

◁明屋海岸



なくなることは明白です。そこで、「島前の存続のためにも高校を無くすわけにはいかない!」という決意で始められた『地域づくりと運動した高校改革』こそが、高校魅力化プロジェクト。平成20年度策定の「高校魅力化構想」に沿って、島全体を学びのフィールドと見立てた地域密着型の授業やキャリア教育など、独創的なプログラムを次々と実践してきました。

特色は大きく4つあります。まずは、高校だけではなく地元3町村が地域総がかり体制で取り組んでいること。2つめは、ふるさと教育をベースとした課題解決型の授業により『グローバル人材』の育成を図っていること。身近な課題を見つめながら広い視野も養

い、起業家精神をもった「地域の担い手」を育てることを目指しています。3つめは、公立塾「隠岐国学習センター」。学校の学習をサポートするほか、各自の興味や問題意識から考えを深めていく「夢ゼミ」では、島内外の大人も参加して議論するとともに、ICTを利用して国内外の専門家や他の地域の高校生との対話の場を作っています。そして4つめは、「島留学」です。生徒数の増加だけでなく、全国から意欲の高い多彩な生徒を受け入れることで島の子たちに良い刺激をもたらす、学力や生きる力を相互に伸ばしあうことが目的で、異文化・多文化の中で協働する力を培っていきける学習環境となっています。このプロジェクトが始まってから、廃校の危機にあった島前高校への入学希望者は増加に転じ、生徒数は平成20年の89名から平成26年には156名となりました。過疎地の高校としては異例の学級増(定員40名から80名へ)が実現し、教職員数も増え、学校全体の活力が高まっています。島前からの働きかけを受け、島根県では23年度から離島・中山間地域での高校魅力化・活性化事業を開始。24年度には「標準法」(「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」)が改正され全国の離島の教育環境改善につながるなど、このプロジェクトは着々と実績を積み重ね、共感の輪を広げています。



△もてなしの定番、海鮮BBQ

フォーラム

海士町では保育園から小・中・高校までの縦の連携にも力を入れており、今後も引き続き、地域総がかり教育、島全体を学校ととらえた独自の教育を一層推進することで、『子育て島』『ヒトづくりの島』としてブランド価値を生み出し、子ども連れの若いU・イターンの定住促進にもつなげていきたいと考えています。

さて、ここでひとつ唄を紹介しましょう。視察に来て頂いた皆様は体験済みの方も多いと思いますが、来島者と、町長以下海士人が手をつなぎ輪になって合唱する唄、『ふるさと』。

ただし通常の『ふるさと』とは歌詞の一部が違います。

♪ 兎追いしかの山 小鮎釣りしかの川
夢は今も巡りて 忘れ難きふるさと…
志を果たし『こ』いつの日にか帰らん
山は青きふるさと 水は清きふるさと

「こ」で学んだ後は島外へはばたいて広い世界で学び、ブーメランみたいにまた島へ戻って、共に働こう。そんな想いをのせて唄う『ふるさと』。これが、地方創生の時代に海士町が発信する新しいスタンダードです。

持続可能な『学びの島』へ

昨年末、また一つ学びの拠点が発生しました。島前高校敷地内、鏡浦寮の隣に新設された「島前研修交流セン

ター」です。地域の方々にも足を運んでもらうことで高校生と交流を深められるような施設で、生徒たちが卒業後も「また帰ってきたい」と思える場所、そして地域の人々に支えられていることを実感できる場所になるように、との祈りを込めて、施設の基本コンセプトは『島家』と設定されました。

その竣工式で山内町長は、「この施設は、島前高校、隠岐国学習センターと並んで、海士町が取り組む全人教育（※）の3拠点の一つとなる。地域はもろろん世界にも開かれた場、多文化・多世代交流の場として『グローバル人材』の育成を目指す場であり、島前の課題に自ら立ち向かっていける若者が



▷ふるさと合唱（交流センターの竣工式）

◁海士人の心意気「ないものはない」



「ここから輩出されるよう期待する」と述べました。学習センター新校舎も竣工が迫っており、今後これらの諸施設に「魂」を入れていく段階に入ります。

海士町としては、CASによる水産加工業や畜産業といった主軸ブランドの産業振興に継続して取り組みながら、「人づくりこそ島づくりの核心」（山内町長）との考えのもと、地域ぐるみのグローバル教育に本格的に挑もうとしているところです。

町の経営指針は、『自立、挑戦、交流』です。地域資源を守り、且つ活かし、地域を担う人材を育て、且つ循環（U・イターン）を促しながら、『自然も人も持続可能』な島をつくるため、海士らしい挑戦を続けて参ります。

海士町役場 総務課

（※）全人教育…知識や技能だけでなく感性なども重視し、人間のさまざまな資質を調和的かつ全面的に育成しようとする教育。

何かと面倒な相続手続き、
お手伝いいたします。

遺産整理業務

[わかち愛]

※遺産整理業務には所定の手数料がかかります。※遺産整理手続き完了時(例)遺産額2億円の場合、遺産整理業務手数料2,887,500円(消費税込み)。(平成17年10月1日現在)

三菱UFJ信託銀行

お問い合わせは ☎0120-349-250 ご利用時間/平日・土・日 9:00~17:00(祝日等を除く)
(回線が繋がりましたら 回線を押してください。)

その人を信じて、
その人に託す。

Meet The Trust Bank

三井住友信託銀行
SUMITOMO MITSUI TRUST BANK

http://www.smtb.jp 三井住友信託銀行 検索

情 報

新任都道府県町村会長の略歴

秋田県町村会は平成27年2月17日の理事会で次のとおり会長を選出した。(2月17日就任)

秋田県町村会長
雄勝郡東成瀬村長

佐々木 哲男
昭和16年10月29日生



【住所】秋田県雄勝郡東成瀬村岩井川字村中26番地2

【町村長としての当選回数】5回

【町村長に就任するまでの経歴】▽昭和53年東成瀬村民生課長▽平成3年東成瀬村助役

【町村会関係の経歴】▽平成11年6月秋田県町村会監査委員▽平成17年6月同副会長▽平成27年1月同会長職務代理者

【主な業績】▽子育て支援「なるせつ子夢センター開設」(児童館、保育園、子育て支援、図書室等の複合施設)▽「地域学習教室」の開設(村営の学習塾)、独自の奨学金制度による高校生等への支援▽産業・観光振興「栗駒山荘」「ジュネス栗駒スキー場」「ホテルプラン」の整備等による振興▽交流の推進「仙人修行イベントの開催」「仙北街道」による県境交流

【趣味】スキー
【家族】妻、長男夫婦、孫

新刊紹介

はじまった田園回帰

現場からの報告

小田切徳美・藤山 浩・石橋良治・土屋紀子・著
特定非営利活動法人中山間地域フォーラム企画 農文協ブックレット
9000円＋税

本書は、昨年7月14日に開催された中山間地域フォーラム主催のシンポジウム「はじまった田園回帰―『市町村消滅論』を批判する」の記録である。会場となった東京大学・弥生講堂には、申込を断るほど多くの人々が全国から詰めかけ、関心の高さがうかがわれた。シンポジウムは、市町村消滅論の批判を謳っているが、その中身は単なる分析や批判を超えた実践的な提案になっている。フィールドワークを欠かさない二人の研究者、移住・定住で脚光を浴びる町長、田園回帰を果たした東京生まれの女性。説得的な「現場からの報告」が綴られている。心に留めておきたいのは、登壇者の発言内容が、特異事例の紹介ではなく、地道な観察や取組、発想の転換に由来していることである。自治体関係者は、いま地方創生政策への対応に追われている。その対応が、「追い込まれる」ことにならないよう、広い視野でしっかりと足元を見つめ直すためのヒントを本書は与えてくれるであろう。人口減少だけが問題なのではない、問われているのは、私たちの暮らしであり、地域社会のあり方だ(藤山氏の発言より)。



車両共済(保険)のご案内
(一般自動車保険の車両保険)

この車両共済(保険)は、町村生協の自動車共済で補償する対人賠償、対物賠償、限定搭乗者傷害等に加え「ご自身のおクルマの補償(車両保険)」を追加する制度です。お車が衝突した場合や台風・いたずら・盗難など偶然な事故で損害を被ったときに、共済(保険)金をお支払いします。

町村生協の自動車共済にご加入の皆様なら!

- 無事故による割引で新規から **42%(保険料)割引**
 - ・ご加入を希望するお車が町村生協の自動車共済で過去3年無事故の場合は、ノンフリート等級9等級からスタートします。
- 集团扱年一括払いによる割引で更に **5%割引**
 - ・ 保険料分割払(12回)も選択可能です。
 - ・ 保険料分割払をご利用の場合は上記の集团扱年一括払いの5%割引の適用はありません。

このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容については取扱代理店(千里)までお問い合わせください。

※この車両共済(保険)をご契約いただける方は、全国町村職員生活協同組合の自動車共済に加入されている方に限ります。

●お見積りのご請求・お申し込み・お問い合わせなどは、下記までご連絡ください●

株式会社 千里 (取扱代理店)
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内
●ホームページアドレス <http://www.chisato-ag.co.jp>

お電話の際には、車検証をお手元にご用意ください
(受付時間 月～金 午前9時30分～午後5時)
0120-731-087
FAX 03-3519-7325

- 「車両共済(保険)制度」は、全国町村職員生活協同組合と損害保険ジャパン日本興亜株式会社とが集团扱契約を締結し、実施しているものです。
- 集团扱としてご契約いただけるのは、保険契約者および被保険者が損保ジャパン日本興亜の定める条件を満たす場合のみとなります。詳細については、取扱代理店(千里)までお問い合わせください。

(車両保険引受保険会社) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」は損保ジャパンと日本興亜損保が2014年9月1日に合併し誕生した会社です。

[SJNK14-13579 (2014.12.24作成)]

随 想

随 想

住みよいまち
「しまもと」をめざして

大阪府島本町長 川 口 裕

島本町は、大阪府の北東部、京都府との府境に位置する人口約3万人の小さな町ですが、まちに愛着を持って住んでいる人が多く住み、地域力の高いまちです。

私は島本町で生まれ、そして育ち、平成17年4月からは、住民のみなさんの信託を受けて、町長として現在、3期目の町政運営を担っています。就任当初から「島本が好きだから」という住民一人ひとりの想いをつなげ、次の世代がまた自分たちのまちに誇りを持っていただけるよう、「ぬくもりのある手づくり感」を大切にしました。まちづくりに取り組んでいるところですが、

こにゆかりのある竹鶴政孝氏や鳥井信治郎氏をモデルにした人物が登場しており、ウイスキーに情熱をかけた人生と、夫婦の絆が感動を呼び、全国的に大きな評判となつていきます。日本中の、多くの方がご覧になっていることに私も大変うれしく思っているところです。本町の自慢である地下水でつくられたウイスキーは、本当においしく、昨年もイギリスのウイスキー専門誌において、「山崎シェリーカスク2013」が、世界最高のウイスキーとして評価されました。最近では、若い世代でお酒離れが進んでいる傾向にあるといわれていますが、是非とも、若い世代の方にも、おいしいウイスキーの味を愉しんでいただきたいと思います。

本町の特産品である「たけのこ」をはじめ、多くの農産物がつくられています。その他にも、近隣に天王山があり、市街地からも山が近く、ハイカーの方もたくさん訪れられています。特に、春は桜、秋は紅葉の名所として知られ、町の南東部にある三川合流地点(木津川・宇治川・桂川が合流して淀川となります)を望むこともでき、たくさんの方が見に来られるなど、私も含め、心が和むひとときを感じています。このように、自然の豊かさを感じるたびに、この環境を守り、残していかなければならないという思いを強くします。

今後、町の発展には、定住促進や子育て支援の充実を図ることは不可欠であり、私も強く意識して取り組んでいる政策のひとつです。4月からは国の「子ども・子育て支援制度」もスタートし、教育・保育の向上や待機児童の解消に向けて取組を進めているところです。さらに、乳幼児医療費助成制度の拡充などにも取り組んでおり、若いファミリー世代にとって住みよいまちをめざしていきたいと考えています。また、高齢者に対しても、みんなで元気な百歳をめざす「いきいき百歳体操」「かみかみ百歳体操」で介護予防に取り組んでおり、この体操にたくさんの方が参加されています。引き続き、このような取組を続けることにも、高齢者やその家族に対する支援体制をより充実させるなど、やさしく住みよいまちをめざしていきたいと考えています。

町長として3期目を迎え、みんなが安全で、安心して暮らせるまちに、という思いの下で必死にまちづくりに取り組んでいます。今後とも、より一層、老若男女問わず、住民のみなさんが笑顔で、そして元気で暮らせるにぎわいのあるまちの実現に向けて、全力を傾注してまいります。

TIME of RELAXING

「ゆとり」と「やすらぎ」のひとつとき

静かさ心地よさに配慮し、室内インテリア全体を落ち着いた雰囲気にとまどめ、ゆったりとしたやすらぎのひとつときをお届けいたします。

<http://www.zck.or.jp/kaikan/index.html>



土・日・祝日は
リーズナブルに

土・日・祝日のご宿泊は、
平日料金の **20%OFF**

金曜日のご宿泊は、
平日料金の **15%OFF**

和室もございますのでお問い合わせ下さい。
禁煙ルームをご用意しております。



シングル 119 室
平日料金10,100円より **SINGLE ROOM**

金曜日料金
15% OFF 8,600円より

土・日・祝日料金
20% OFF 8,100円より



ダブル 12 室
平日料金 13,700 円 **DOUBLE ROOM**
(2名利用) ※1名利用の場合 11,400円

金曜日料金
15% OFF 11,600円
※1名利用の場合 9,600円

土・日・祝日料金
20% OFF 10,900円
※1名利用の場合 9,000円



ツイン 17 室
平日料金 19,000円より **TWIN ROOM**
(2名利用)

金曜日料金
15% OFF 16,200円より

土・日・祝日料金
20% OFF 15,200円より



会議室・宴会場

2階には広さと設備が多様な、大小4つのホール、会議室。高い機能性を持ち、さまざまな演出が可能です。会議・研修、パーティーなどに幅広くご利用いただけます。



カジュアルレストラン「ベルラン」

ランチタイム 11:00 ~ 14:00
ティータイム 14:00 ~ 17:00
ディナータイム 17:00 ~ 22:00
(21:30ラストオーダー)



和食処「さいかち」

ランチタイム 11:30 ~ 14:30
(14:00ラストオーダー)
ディナータイム 17:00 ~ 22:00
(21:30ラストオーダー)



全国町村会館

市町村職員共済組合等の宿泊助成券がご利用いただけます。

お電話でのご予約・お問い合わせは

TEL 03(3581)0471

FAX 03(3581)0220

〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号

WEBからのご宿泊予約は、特別料金(部屋数限定)がございます。

ホームページは

[全国町村会館](#)

[検索](#)

全国町村会館へのアクセスガイド

- 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町」3番出口徒歩1分
- 丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」徒歩8分
- タクシー東京駅から約20分

